

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 25 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 17 日 作成

事務事業名		建山黒石原線改良事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連						
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	都市建設部	課長名 上原哲也						
	施策	5	道路ネットワークの充実		所属課	建設課	担当者名 川俣洋一郎						
	基本事業	13	計画的な道路の整備		所属班	工務班	(内線) 2277						
予算科目	会計	1	款	8	項	2	目	4	事業連番	10085	法令根拠	成果優先度評価結果	-
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 21年度で終了	<input type="checkbox"/> 22年度から開始	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	(開始年度	7	~	21	年度)	コスト削減優先度評価結果	-	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	合志市内南部を東西につなぐ幹線道路を整備する事業である。L=1400m内840mは平成7年度～平成15年度において施工完了しており、残り560mの内275mを整備する。地元要望等により必要性の検討の結果、平成7年度から事業開始となった。事業開始時期、周辺は既存の住宅が点在していたが、住宅開発が進み交通量も増加しており、合併後の東西を結ぶ重要な幹線道路として位置づけられている。今後は交通量に応じた幅員構成及び歩道の設置によりスムーズな通行が出来る整備が必要とされる。
【業務の流れ】	関係機関協議、測量設計、用地交渉、登記、支払、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払
【主な予算費目】	事業費は用地費、工事費に支出される。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	地域住民及び道路利用者から道路拡幅や歩道整備の要望がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
関係機関協議、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払	
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位) (単位)
⇒ ア 計画延長	m イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
建山黒石原線	⇒ ア 計画延長 m
	⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
快適に移動できる	⇒ ア 整備率 %
	⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 平成21年度で事業完了	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア m		275	275	275	275			
⑤ 対象指標	ア m		275	275	275	275			
⑥ 成果指標	ア %		15	50	100	100			
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円		20,000	28,500	21,000			
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円		1,153	1,500	4,849			
(A) 事業費計	千円		0	21,153	30,000	25,849	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	5			
	延べ業務時間	時間	784	784	784	399			
	(B)人件費計	千円	3,112	3,136	3,120	1,588	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,112	24,289	33,120	27,437	0	0	0	

総トータルコスト 全体計画	7 ~ 21 年度
(期間限定複数年度のみ記載)	
	50,626
	2,764
	53,390
	8
	2,744
	10,921
	64,311

合志市

事務事業名	建山黒石原線改良事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成21年度に拡幅及び歩道整備工事を行った。既設の道路は幅員も狭く急カーブであったため、工事施工後は車・歩行者が非常に通行しやすい道路となった。ただ、工事施工中に埃、砂利の飛散等の苦情があった。今後は施工管理の面においても十分注意するよう心掛けたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策